

職場でできるごみ減量・リサイクルの取組

事業者には事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任で適切に処理する責務があります。

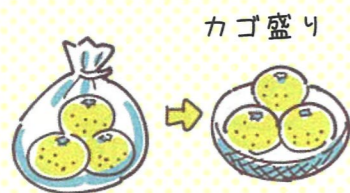
そのうえで、以下の取組例を参考に、ごみの減量・リサイクルに努めましょう。



紙ごみ減量の取組

- 電子データ化により紙類の使用を抑制する。
- コピー用紙の使用量削減やミスコピー紙・不要な紙の裏面利用に取り組む。
- 再生可能な紙類は回収の区分ごとに分別し、ひもで縛るなどして排出する。秘密文書は溶解処理、またはシュレッダー紙として再資源化する[※]。

※ 再生可能な紙類や秘密文書は、市焼却工場へ搬入することはできません。



商品製造・販売時の取組

- 解体の容易さなど、再利用・再資源化を考えた製品の設計・開発を行う。
- 買い物袋等の持参を呼びかけ、レジ袋の削減に取り組む。
- 使い捨て食器の提供を控え、繰り返し使用できるものを採用する。
- 過剰包装を控え、簡易包装・無包装を推進したり、小分け売り・量り売りを行う。



食品ロス・生ごみ削減の取組

- 食べ残し削減のため、小盛メニューの導入や、食べ残しの持ち帰りなどを推進する。
- 生ごみを出す前にしっかりと水切りをする。
- まだ食べられる余った食品を、必要としている団体や施設に提供する活動を行う団体(フードバンク)に寄付する。
- 過剰在庫とならないよう適切な入荷管理や、納品期限・販売期限に関する商慣習の見直しを行う。



その他の取組

- ごみ減量・リサイクルについての環境学習を社内で実施する。
- 筆記用具やのりなどは詰め替え用商品を使用するなど、環境に配慮した商品を選択する。



消費者は事業者が環境問題にどのように取り組んでいるか注目しています。ごみの減量・リサイクルを積極的に推進することで、事業所のイメージアップや経費の削減、従業員の環境意識向上につながります。

パパやママの会社も頑張ってるんだね

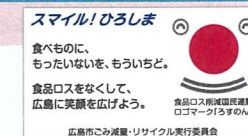


事業ごみの減量・リサイクルに向けた取組について詳しくは「事業系一般廃棄物の減量・リサイクルガイドライン」をご確認ください。

広島市HPページ番号 0000138976

広島市が行う ごみ減量・リサイクルの主な取組

家庭ごみ対策	容器包装プラスチックの減量	店舗等への働きかけによるばら売り・量り売りの促進や過剰包装の抑制、簡易包装促進の働きかけ、市民に対する買い物袋持参の啓発、リユース食器の利用促進を図ります。
	販売店等による店頭回収の利用促進	店頭回収の品目追加や実施店舗の拡大等の働きかけ、店頭回収の利用促進、販売店等の店頭自主回収体制構築を促進します。
	家庭ごみの分別徹底	スマートフォン等を活用したごみ分別等の情報発信や家庭系紙ごみの出し方マニュアルの啓発等により家庭ごみの分別の必要性と分別方法について周知を図ります。
事業ごみ対策	事業ごみの減量・リサイクルに関する指導	「事業系一般廃棄物の減量・リサイクルガイドライン」を配布・広報し、事業者のごみの減量や分別、リサイクルを促進するとともに、多量排出事業者への指導を行います。
食品ロス対策	家庭系生ごみの削減	食品ロス削減運動の実施やエコクッキングの推進等、食品ロス削減キャンペーン「スマイルひろしま」を推進します。
	事業系生ごみの削減・リサイクル	食べ残しゼロ推進協力店及び食品ロス削減協力店制度による食品ロス削減の実施や食品ロスの循環利用システムの構築を図ります。



広島市では『ゼロエミッションシティ広島』の実現に向けて、 ごみ減量・リサイクルの他にも以下の取組を行います(取組は一例です)。

不法投棄・ばい捨て防止対策等の推進

不法投棄防止パトロールの強化や不法投棄防止キャンペーンの充実等、不法投棄をされない環境づくりを推進します。また各種団体によるばい捨て防止の啓発の推進やばい捨て防止指導員による美化推進区域内の巡回パトロールを実施します。

清掃美化活動の推進

クリーンアップチームひろしまによる主要交差点等の巡回清掃や散乱ごみ追放キャンペーンを実施するとともに、道路や公園等における清掃活動を支援します。



ごみのないきれいなまちづくりに向けて、みなさまのご協力をお願いします!

収集運搬体制の再構築

ごみ置き場のステーション化、大型ごみの自己搬入における休日開場の実施等について検討します。

コストの削減

ごみの減量・リサイクルによるごみ処理量の削減や老朽化施設の設備更新による延命化等によりごみ処理コストや施設整備費等の負担軽減を図ります。

施設の整備・管理・運営

老朽化が進行している南工場について令和10年度の稼働開始を目指して建て替えるなど、安定的なごみ処理体制が確保できるよう、ごみ処理施設の整備・管理・運営を行います。